

地球トイレプロジェクト in 中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2019 ～ 用を足す。地球のことを考える。～

【トイレ掃除から地球環境を考える】

9 月 28 日～29 日に岐阜県中津川市で開催された「中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2019」に、(株)EM 生活・NPO 法人 EM あいちの有志で地球トイレプロジェクト（地球トイレ PJ）を実施した。

地球トイレ PJ とは、化学薬品に頼らない・環境負荷をかけない・嫌な臭いを抑え、「安心安全快適」仮設トイレを演出し、「トイレは豊かな海への入口」という視点で日本と世界をソーシャルデザインする取組み。具体的には、①善玉菌で清潔なトイレ空間を演出、②災害時のトイレ衛生を改善③「吐き溜め」から「生命の泉」へのパラダイムシフト（考え方や価値観が 180 度変わること）。

発端は NPO 法人 EM あいち 葛山真司さんの奥様（佳代子さん）が愛知県豊田市で開催されている「橋の下世界音楽祭」いう野外イベントに対し、知り合いを通じて EM で洗い場の水処理ができないかとの相談を受け、トイレ掃除と生ごみ処理を提案した。実際トイレに使用したところ、「EM すごい！臭わない！！」という声が上がリ、EM の効果を実感。色んな人脈やご縁から 2018 年 9 月に中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2018 に初めて参加した。その結果、地球トイレを体験した方の約 90%が「GOOD」と評価し、また、実行委員長からも高評価を頂いた。その功績から 2019 年も参加できることとなり、よりパフォーマンスを上げるために色々な仕掛けを行った。結果、92.8%の「GOOD」評価を頂くことと共に、臭気測定結果からも面白い結果も得た。

また、この日は愛知県名古屋市中極楽学区の防災訓練が開催され、(株)EM 生活の出展ブースとこの日の地球トイレ PJ を LIVE 中継した。ポスターや資料の説明だけでなく、現場の声を届けることで相乗効果を期待し対応した。中継が始まると消防団員も呼びに行くなど、盛り上がった。

中津川 THE SOLAR BUDOKAN 実行委員長からは、「この活動に誇りをもってほしい」と改めて高評価頂き、来年に繋ぐことができた。それだけでなく、一緒に活動した一般ボランティアの学生から「掃除する側としても全く不決じゃなくて、トイレ掃除なのにすごく楽しかったです。来年ももし参加できたら、トイレ掃除がいいです。こんなにも楽しみながら自分の身になるボランティアないです！環境問題にも興味を持てたのも大きいです！ありがとうございます。」という声が届いた。EM を知らない次世代を担う若者の意識が変わった瞬間だった。

【EM の素晴らしさを次世代に】

トイレ掃除が地球トイレ PJ を通じ体験することで、参加した人の意識を大きく変えてしまう。ここに EM と地球トイレ PJ の意思を感じる。具体的な EM 活用方法は、過去 30 年以上 EM 活動にご尽力頂いている先輩方の知恵・経験・ノウハウを受け継いだもの。その先輩方の想いを令和時代と次世代の若者をターゲットにし、EM ブランド価値を高めたものがこの地球トイレ PJ である。EM を知っている人も知らない人も関係なく、とにかく地球トイレ PJ から EM を楽しんでいる。そこには、音楽やイベントの楽しさに EM が共鳴して活動者の心の奥から真の楽しさを感じることができているのではないと思う。また、トイレ掃除を通して排泄物の行く先を考えることで、地球環境にまで意識を高めることができる。こういう新たな活動が展開できるのも、先輩方の功績の積み上げであり、次世代を担う私たちはしっかり遺伝子をしっかり受け継ぎ、新たな時代を創り上げていきたい。



地球トイレ PJ ポスター



極楽防災での LIVE 中継



若き世代の担い手たち